

木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター

TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(20年5月分)

1. 調査実施期間 平成20年 4月20日 ~5月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

5月分の回答企業数は43社、回収率は93.5%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		20/5月	6月	7月
仕入動向	国産材	△ 17.6	△ 11.8	△ 12.1
	外材	△ 17.5	△ 8.8	△ 6.4
販売動向	国産材	△ 24.3	△ 12.9	△ 7.4
	外材	△ 25.0	△ 5.3	△ 8.1
在庫動向	国産材	△ 8.8	△ 11.8	△ 13.6
	外材	△ 10.5	△ 8.1	△ 4.2

仕入は、国産材、外材ともやや大きなマイナス幅を着実に縮めるものの、依然マイナス基調に変わりなく弱含み。

販売は、国産材、外材とも大きなマイナス幅を縮めたが、回復の足踏み鈍い。

在庫は、国産材、外材ともマイナスで上下しつつほぼ横ばい。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	20/5月	6月	7月
スギ正角(グリーン)	△ 3.8	△ 1.9	△ 4.0
スギ正角(KD)	△ 1.9	1.9	△ 2.0
ヒノキ正角	△ 4.0	△ 4.0	△ 4.2
ヒノキ土台角	△ 4.0	△ 2.0	△ 4.2
米ツガ正角(現地挽)	△ 4.5	△ 2.3	0.0
米ツガ防腐土台角	△ 2.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	0.0	2.1	2.1
米マツ平角	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	13.0	20.4	13.5
ホワイトウッド集成管柱	9.6	13.5	8.0
レッドウッド集成平角	6.5	6.5	6.5
型枠合板(国産)	4.8	9.5	5.0
型枠合板(輸入)	4.3	10.9	6.8
針葉樹合板	2.3	13.6	11.9

スギ正角(グリーン、KD)、およびヒノキ正角、土台角とも小さなマイナス幅でやや弱気配だが堅調である。

米ツガ正角、防腐土台角、割物、米マツ平角はいずれもゼロから小さなプラス幅と明るさ出ている。

北洋アカマツタルキはやや大きなプラスで絶好調。

ホワイトウッド集成管柱、レッドウッド集成平角ともプラス幅で、完全に好調へ戻っている。

合板はプラス幅で安定感ある。特に、針葉樹合板は勢い出て今後が注視されよう。

1. 荷動き	コメント
仕入 動向	<p>米マツ一般材丸太では、4月積み米物輸出価格は据え置き。カナダ物はカスケードFASが大幅アップ。フレートは高止まりで、今後の入荷玉は確実にコストアップ。アラスカスプルース丸太等も新材は輸出価アップ。(東京:問屋)</p> <p>産地通貨の上昇、天候不順、中国の買付増加、船賃上昇とコストアップ要因ばかり。(東京:問屋)</p> <p>スプルースは産地側の出材が低水準で、取り合い状態であるが、高唱えから設定価格が高く、合わない。(東京:問屋)</p> <p>丸太の端境期でもあり、荷物は少なくなる。(東京:問屋) 無風状態。(東京:問屋)</p> <p>米・カナダ材の動き悪く、仕入れは控え目。その分北欧・ロシア材を増やしている。(東京:問屋)</p> <p>内地材は在庫多目で、メーカーは価格相談に応じる模様。(東京:問屋)</p> <p>産地製品市場、造作材はそこそこ動きある様だが、構造材役物は皆目売れず。(東京:問屋)</p> <p>産地から連日売り込み電話あり。(東京:問屋) 入荷少量だが順調。(東京:問屋)</p> <p>欲しいサイズがなかなか揃わなくて余分な材まで仕入れている。注文材の歩留まり悪い。(東京:問屋)</p> <p>仕入れ値の高い安いに係わらず仕入れ意欲なし。あまりにも品物が動かなすぎる。夢の話だが、もし、一斉に仕事が進出した場合、集荷コストの面で収集が付かなくなるだろう。(東京:仲買小売)</p> <p>梅雨に入ると立木伐採されず。(東海:問屋)</p> <p>連休明け若干入荷増が見られる。連休中、市場・販売店の休みによる一時的な現象と見られる。(東海:問屋)</p> <p>建築確認許可が緩んできたおかげで、春先よりに動きは順調。(東海:仲買小売)</p> <p>諸々の事情で値上げしたいのは山々だが、大阪圏は需要低迷が大きく値上げの頭押しさえになっている。(東海:仲買小売)</p>
販 売 動向	<p>京浜マーケットでは相変わらず米マツカスケードタイプには底固い需要がある反面、プレカット向けコストの引き合いは鈍い。(東京:問屋)</p> <p>出荷量は微増傾向にはあるが、コスト増の転換はまだ難しい状況。他の建築資材のコストアップのしわ寄せが木材にきている感じ。(東京:問屋)</p> <p>4月はそこそこ売れたが採算の上で厳しく、収支トントンであった。(東京:問屋)</p> <p>ゴールデンウィーク明けもあまりパツとせず。(東京:問屋) 減少傾向は暫く続く見込み。(東京:問屋)</p> <p>構造材役物の見積りはまずない。造作材も見積り合せが多く、単価はなかなか厳しい。(東京:問屋)</p> <p>先月の荷動きに比べ、若干落ち込みがある。(東京:問屋) 最悪期は脱した感じもある。(東京:問屋)</p> <p>年度変わり期待も空振りに終わり、その日暮らし状態が続く。在庫持たないので細かい商いとなっている。(東京:問屋)</p> <p>客筋もあきらめているので大変静か。連休明けも不発で終わり、あがく事も出来ずじっとしている。(東京:仲買小売)</p> <p>木材販売は終末的な時代。60歳前後のオーナーから、リフォーム依頼旺盛。(東京:仲買小売)</p> <p>荷動き全く悪い。それ以外のコメント見当たらない。(東京:仲買小売)</p> <p>まとまった物件が殆んど無く、細かなリフォームのみ。回復はもう少し先になりそう。(東京:仲買小売)</p> <p>一般的に荷動き回復せず。(東海:問屋)</p> <p>相変わらずヒノキ製材製品が弱い。今月は休みも多く売上げも減る模様。(東海:問屋)</p>
在 庫 動向	<p>米マツカスケードの問屋手持ち在庫は殆んど無く、コストの尺上在庫が目立つ。(東京:問屋)</p> <p>全体的に在庫が減り身軽にはなったが、産地要因から在庫補充が難しい商品もあり、バラツキ感がある。(東京:問屋)</p> <p>流通在庫減少のため注意しないと欠品が出るかも。(東京:問屋)</p> <p>まだ在庫を増やす状況ではない。(東京:問屋)</p> <p>九州、四国産の小径木在庫が増加。(東海:問屋)</p>
2. 価格動向	
スギ正角	<p>価格変化なし。無いもの高になるかもしれない。(東京:問屋) 動かず、現在値を保っている。(東京:仲買小売)</p> <p>国産グリーン材は用途がしばみ、価格は弱い。(東海:問屋)</p>
ヒノキ正角	<p>荷動き次第。国産材は弱い。(東京:問屋)</p>
ヒノキ土台角	<p>内地材全般に安価安定。(東海:問屋)</p>
米ツガ	<p>内地挽きメーカーより値上げのアナウンスあり。(東京:問屋)</p>
米マツ平角	<p>ツガ・マツともにグリーン材弱い。KD材は保合い。(東京:問屋)</p> <p>無風です。(東京:問屋)</p>
北洋アカマツ タルキ	<p>アカマツだけ強含み。(東京:問屋)</p> <p>産地国からの大幅供給減が必至。対日価格上昇は続く。(東京:仲買小売)</p> <p>現地挽きのみでお客の要求する品質・納期・価格に答えられるのか。(東京:仲買小売)</p> <p>5/1より製材所が値上げの様子(2,000~3,000円/m³)。7月末まで値段に注意。(東海:仲買小売)</p>
WW・RW 集成材	<p>WWは据置、RWは1,000円アップ。(東京:問屋)</p> <p>底値とは思いますが上昇する勢い無い。(東京:問屋)</p>
合板	<p>原油高でやや上昇か?(東京:仲買小売)</p> <p>最近では珍しく合板価格に安定感がある。(東海:仲買小売)</p>